

項目	内容									
医薬品区分	一般用医薬品									
薬効分類	葛根湯									
承認販売名	葛根湯内服液NX									
製品名	葛根湯内服液NX									
製品名（読み）	カクコントウナイフクエキエヌエックス									
製品の特徴										
使用上の注意	■相談すること 1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください (1) 医師の治療を受けている人。 (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。 (3) 体の虚弱な人（体力の衰えている人、体の弱い人）。 (4) 胃腸の弱い人。 (5) 発汗傾向の著しい人。 (6) 高齢者。 (7) 今までに薬などにより発疹・発赤、かゆみ等を起こしたことがある人。 (8) 次の症状のある人。 むくみ、排尿困難 (9) 次の診断を受けた人。 高血圧、心臓病、腎臓病、甲状腺機能障害 2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この製品を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください 〔関係部位：症状〕 皮膚：発疹・発赤、かゆみ 消化器：吐き気、食欲不振、胃部不快感 まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。 その場合は直ちに医師の診療を受けてください。 〔症状の名称：症状〕 偽アルドステロン症、ミオパチー：手足のだるさ、しびれ、つっぱり感やこわばりに加えて、脱力感、筋肉痛があらわれ、徐々に強くなる。 肝機能障害：発熱、かゆみ、発疹、黄疸（皮膚や白目が黄色くなる）、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。 多形紅斑：皮膚が広い範囲で赤くなる、水疱が皮膚の赤い部分にあらわれる、高熱、のどの痛み等が持続したり、急激に悪化する。※ 3. 1ヵ月位（感冒の初期、鼻かぜ、頭痛に服用する場合には5～6回）服用しても症状がよくならない場合は服用を中止し、この製品を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください 4. 長期連用する場合には、医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください									
効能・効果	体力中等度以上のものの次の諸症：感冒の初期（汗をかいていないもの）、鼻かぜ、鼻炎、頭痛、肩こり、筋肉痛、手や肩の痛み									
効能関連注意										
用法・用量	成人（15歳以上）1回1本（30mL）、1日3回食間によく振ってから服用してください。									
用法関連注意	(1) 用法・用量を厳守してください。 (2) 15歳未満の小児には服用させないでください。 (3) 本剤は1回1本の服用で飲みきり、飲み残しのないようにしてください。									
成分分量	<table><tr><td colspan="3">1日量3本（90mL）中</td></tr><tr><td>成分</td><td>分量</td><td>内訳</td></tr><tr><td>葛根湯エキス</td><td>4310mg</td><td>カクコン8.0g、マオウ4.0g、タイソウ4.0g、ケイヒ3.0g、シャクヤク3.0g、カンゾウ2.0g、ショウキョウ1.0gより製したエキス</td></tr></table>	1日量3本（90mL）中			成分	分量	内訳	葛根湯エキス	4310mg	カクコン8.0g、マオウ4.0g、タイソウ4.0g、ケイヒ3.0g、シャクヤク3.0g、カンゾウ2.0g、ショウキョウ1.0gより製したエキス
1日量3本（90mL）中										
成分	分量	内訳								
葛根湯エキス	4310mg	カクコン8.0g、マオウ4.0g、タイソウ4.0g、ケイヒ3.0g、シャクヤク3.0g、カンゾウ2.0g、ショウキョウ1.0gより製したエキス								
添加物	D-ソルビトール、果糖ブドウ糖液糖、アセスルファムK、スクラロース、ポリオキシエチレン硬化ヒマシ油、グリセリン脂肪酸エステル、安息香酸Na、パラベン、エタノール、カラメル、プロピレングリコール、バニリン、香料									
保管及び取扱い上の注意	(1) 直射日光の当たらない涼しい所に保管してください。 (2) 小児の手のとどかない所に保管してください。 (3) 他の容器に入れ替えないでください。（誤用の原因になったり品質が変わります。） (4) 使用期限の過ぎた製品は使用しないでください。									
消費者相談窓口	問合せ先名：日本薬剤株式会社 問合せ先住所：富山市東中野町一丁目1番1号 問合せ先部署：お客様相談窓口 問合せ先TEL：076-424-2239 問合せ先受付時間：月～金　9：00～17：00（祝日を除く）									
製造販売会社	日本薬剤株式会社 添付文書情報 939-8086 富山県富山市東中野町1-1-1									
販売会社										
剤形	液剤									
リスク区分等	第2類医薬品									